

《講演者プロフィール》

ハリー A . クーパー (Dr. Harry A. Kuiper)

オランダ・ワーヘニンヘン大学・研究センターRIKILT (食品安全研究所) 国際会計マネージャー・プログラムリーダー。

ワーヘニンヘン農業大学で食品科学を専攻後、1976年 Groningen 州立大学で、ヘモシアニン・ヘモグロビンの構造及び機能に関する研究で博士号を取得。1976年から1980年までローマ大学医学部で博士研究員を務める。

国内及びEUにおける食品中の残留農薬、健康保護に係る化合物、遺伝子組換え食品の安全性評価に従事し、数多くのプロジェクトリーダーを務めている。1997年から2003年まで、欧州科学委員会植物部会の委員として遺伝子組換え生物由来食品・飼料に関する食品安全問題の専門家として活躍した。

現在は、EFSA (欧州食品安全機関) の遺伝子組換え生物パネル座長及び科学委員会委員を務めている。また、食品安全に関する様々な研究から、新たな統合的リスク分析を目指す「SAFE FOODS」プロジェクトのコーディネーターも務めている。

国際的にも遺伝子組換え生物の専門家として、CODEXやFAO/WHOの数々の委員会等で活躍している。

論文等著書多数。

欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

欧州委員会とは法的に独立した機関として2002年1月に新設。食品の安全性に関して、欧州委員会などに科学的な助言を行う。リスク評価は、同機関に設置された8つの科学パネルが担う。作物の病虫害、飼料、動物福祉を含めた、あらゆる食品にかかわるリスクが評価の対象となる。

EFSAホームページ <http://www.efsa.eu.int/>

SAFE FOODSとは?

新しい統合的なリスク分析により食品安全を推進するEUが出資する第6期フレームワークプロジェクトの1つ。多様な学術的アプローチにより食品安全に関するリスク分析手法を向上させ、フードチェーンに対する消費者の信頼回復を目的とする。

SAFE FOODS ホームページ <http://www.safefoods.nl/default.aspx>

澤田 純一 (さわだ・じゅんいち)

食品安全委員会遺伝子組換え食品等専門調査会座長

国立医薬品食品衛生研究所機能生化学部長

1971年6月、東京大学理学部生物化学科卒業、1976年3月に東京大学大学院薬学系研究科博士課程を修了し、博士号を取得。その後、東京大学薬学部助手、国立衛生試験所室長を経て、1991年4月より現職。

専門の研究分野は、免疫毒性学、ゲノム薬理学など。ミレニアムプロジェクトの一環として行われた薬剤反応性プロジェクトのチーム・リーダーも務めた。

行政支援の面からは、食品安全委員会の新設以前の厚生労働省における組換えDNA技術応用食品の安全性評価にも分科会委員等として係わり、現在も、薬事・食品衛生審議会臨時委員、食品安全委員会専門委員、独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員等を兼務。